

認知症高齢者グループホーム評価表

(自己評価)

法人名： 有限会社 ミキ

グループホーム名： グループホーム三亀(さくら)

ユニット数： 2 ユニット

総定員： 18 人

総実員： 18 人

グループホーム所在地： 大津市別保3丁目1-24

サービス向上委員会名： サービス向上推進チーム三亀

評価の責任者 職・氏名： ユニットリーダー 三浦 正子

評価年月日： 19年 10月31日

前回評価年月日： 18年 10月31日

自己評価項目	外部評価項目	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I 理念に基づく運営					
I-1. 理念と共有					
1	1	<input checked="" type="checkbox"/> ①地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「ゆっくり暮そ」「楽しく暮そ」「元気に暮そ」3つの理念を地域の中でその人らしい暮らしの支援としている。		
2	2	<input checked="" type="checkbox"/> ②理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	わかりやすい理念の為、職員全員が覚えており、日々実践している。理念を掲示している。唱和もしている。		
3		<input checked="" type="checkbox"/> ③家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	パンフレットに記載。玄関に掲示。入所時家族に伝えている。運営推進会議を開催し説明を行ったり地域の行事に参加し地域住民との交流の場で職員が口頭にて伝えている。		
理念と共有 3項目中 3項目					
I-2. 地域との支え合い					
4		<input checked="" type="checkbox"/> ①隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	日常的なあいさつはいつもしており、お花を頂いたり、大津の花火大会と一緒に屋上で見学したりしている。		
5	3	<input checked="" type="checkbox"/> 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に加入し、お祭り、地蔵盆等に参加し、交流に努めている。ホームの花壇や家園も手伝いに来て下さる。		
6		<input checked="" type="checkbox"/> ③事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	2ヶ月に一度運営推進会議を開催しており、事業所の見学をしてもらったり、行事に参加してもらったりしている。居宅のケアマネも同席し、地域の方の介護相談にも応じている。		
地域とのつきあい 3項目中 3項目					

自己評価項目	外部評価項目	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I-3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	<input checked="" type="checkbox"/> ①評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	昨年度課題は、家族への報告が出来ていないことだったので、月1回家族へ暮らしぶりや健康状態を手紙で報告している。管理者、主任、ケアマネを基に各ユニット職員皆が一つひとつの項目をこの機会を真剣にうけとめ取り組んでいる。		
8	5	<input checked="" type="checkbox"/> ②運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月～3ヶ月に1度開催しており、議事録も残している。ホームでの行事や外出、消防訓練の報告と実際、介護についての情報交換を行い意見、アドバイス今後活かさせていっている。		
9	6	<input checked="" type="checkbox"/> ③市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市町村との連絡を図り、グループホーム協議会等にも積極的に参加し、地域の認知症ケアの向上に向け協働している。周辺地域の諸施設との連携を図っている。雇用能力開発センターを通じ、実習生の受け入れも行う事でQOLの向上に取り組んでいる。		
10		<input checked="" type="checkbox"/> ④権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	今までにも利用活用させて頂き支援している。支援制度の関係者との交流も図れている。		
11		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修への参加、全職員が常に意識をもつよう話し合い、情報の共有と再確認、認識するようにしている。		
理念を実践するための制度の理解と活用 5項目中 5項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
		I-4. 理念を実践するための体制			
12		<input checked="" type="checkbox"/> ①契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居希望者が入居決定に至るまでホームを見学して頂き、利用料金や入退居に関する内容等を分かりやすく説明、書面で明示を行っている。家族、本人と十分話し納得、安心が得られるような入退居時の援助を図っている。		
13		<input checked="" type="checkbox"/> ②運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	食への楽しみから献立を考える時は入居者の意見を取り入れている。		
14	7	<input checked="" type="checkbox"/> ③家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	月1回たよりにて暮らしぶりや健康状態を報告している。家族の面会時には気軽に意見交換が出来るよう声かけ、話し合いを行い積極的に家族への現状報告を行っている。また、入居者の希望や力量に応じてご自身で財布を持ってもらう等の支援を行っている。		
15	8	<input checked="" type="checkbox"/> ④運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見書箱の設置をしている。苦情処理簿で管理している。重要事項説明書に明示している。面会時や電話などで家族との連絡を密にし、何でも話して頂ける関係を作っている。		
16		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員の意見を反映させている。		
17		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	入居者の生活状況に応じた無理のない職員の勤務体制を組んでいる。		
18	9	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	事例が発生した時はある程度時間をかけて交替が行われるよう配慮に努めている。		
理念を実践するための体制 7項目中 7項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
		I-5. 人材の育成と支援			
19	10	<input checked="" type="checkbox"/> ①職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	ケアの基本以外に接遇作法、個人情報、プライバシーの保護、安全管理など知識技能は多岐にわたるので業務を円滑にするために必要な研修は働きながら取り組み、他に積極的に施設外研修に参加修得し、レポート回覧やスタッフ間で話し合っている。		
20	11	<input checked="" type="checkbox"/> ②同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	淡海グループホーム協議会に加入、出席。研修会への参加も管理者と職員がその機会を活かし積極的に情報交換するようにしている。		
21		<input checked="" type="checkbox"/> ③職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	個々の職員と話を聞く程度ではあるが、管理職員が解消に対応している。研修等で外部者と接したり職員相互の親睦、悩みの聴取等の方策を取り入れている。		
22		<input checked="" type="checkbox"/> ④向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	ケアサービスの質の向上に熱意を持ち、共に理念の実現に向けて取り組んでいる。		
人材の育成と支援 4項目中 4項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
II-1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		<input checked="" type="checkbox"/> ①初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入所直後は出来るだけ早く、ホームに馴染んで頂ける様に本人様の思いを度々確認したり、仲間作りを見守る。		
24		<input checked="" type="checkbox"/> ②初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	相談には時間のゆとりを持ち傾聴し、解決方法を一緒に考えるよう努めている。		
25		<input checked="" type="checkbox"/> ③初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	自施設での受け入れが困難な時は他を紹介している。保健医療福祉の関係者と情報交換と話し合いを行い、必要に応じて援助に努めている。		
26	12	<input checked="" type="checkbox"/> ④馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	常に入居者の状態が把握できるように記録、調理等見守り声かけできる所に位置づけている。地域や入居者に馴染みの季節行事を通じ、家庭的な雰囲気を楽しむ支援から馴染めるよう支援している。		
相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 4項目中 4項目					
II-2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	<input checked="" type="checkbox"/> ①本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	入居者一人ひとりが持てる力を発揮した暮らしとして、体操や得意な事はどんどんやってもらい、日常生活の役割を担ってもらい、良い関係作りに努めている。		
28		<input checked="" type="checkbox"/> ②本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	個々人の諸事情にもよるが、家族や親しい人の面会、外出、外泊、外食、電話連絡などによる交流は声かけ支援により成果が見られる。		
29		<input checked="" type="checkbox"/> ③本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	家族が気軽に訪問しやすい雰囲気作りや行事計画し、無理のない家族参加支援作りに努めている。納涼祭を開催し家族と一緒に食事やレクリエーション等をしている。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30		<input checked="" type="checkbox"/> ④馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	ホームの居室には今まで自宅で使用しておられた物を持参してもらい、少しでも自宅の雰囲気を作ってもらおうようにしている。		
31		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	一緒に本を読んだり、トランプ・かるた取り等のゲームを一緒にしたり、利用者同士が話しやすい環境作りをしている。料理、洗濯物等を共に支え合い、生活できる場面作りを行っている。		
32		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	サービス利用の間に培われた関係を大切にし、退所後も相談、支援させて頂いている。来ホームもして頂けている。		
新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 6項目中 6項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
Ⅲ-1. 一人ひとりの把握					
33	14	<input checked="" type="checkbox"/> ①思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	アセスメントに基づいて本人の意見や希望を聞き、入居者主体の目標を立て個々の特性をふまえ、個別ケアを作成している。		
34		<input checked="" type="checkbox"/> ②これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	日々のケース記録や申し送りノート、業務日誌等を活用して職員間の情報伝達のシステム構築している。		
35		<input checked="" type="checkbox"/> ③暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	チームケアを行う上で、全ての職員が本人の状態を把握して活発に意見交換を行って合意を図っている。		
一人ひとりの把握 3項目中 3項目					
Ⅲ-2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	<input checked="" type="checkbox"/> ①チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	毎日入居者と行動し本人の思いをくみとり、また、面会時や電話等で家族の意見や希望を聞き、職員の気付きも取り入れ、アセスメントを行い、ニーズを明確にし、ケアプランに反映させている。		
37	16	<input checked="" type="checkbox"/> ②現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	定期的及び入居者の状態変化に基づいた計画の随時見直しを家族、関係者と相談して行っている。		
38		<input checked="" type="checkbox"/> ③個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	入居者一人ひとりの特徴や変化を個別に記録できている。		
介護計画の作成と見直し 3項目中 3項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
		Ⅲ-3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39	17	<input checked="" type="checkbox"/> ①事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者の要望に応じて、外食をしたりお花見、紅葉見学等、外出も年に何回かしている。外出の支援、移送サービス、外泊支援等行っている。実習生の受け入れや地域の人達の介護相談にも応じている。		
多機能性を活かした柔軟な支援 1項目中 1項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
		Ⅲ-4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40		<input checked="" type="checkbox"/> ①地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	入居者の生活の安定や拡がり、充実を図ることを支援してくれるよう、近隣住民等、周辺施設として近隣のスーパー、福祉施設へ伺い、親交を深め、理解協力への働きかけを行っている。		
41		<input checked="" type="checkbox"/> ②他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	他の施設(デイサービス)をテストケースとして訪問利用している。他のグループホームとの訪問交流も図っている。		
42		<input checked="" type="checkbox"/> ③地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	権利擁護等の支援必要な方が有れば相談に行く。概ね2ヶ月に1回来ホーム頂き、情報交換などによる連携を図っている。		
43	18	<input checked="" type="checkbox"/> ④かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	提携医療機関を確保している。常に嘱託医と連携をとり定期的な回診を受けている。往診対応も受けている。入居者の状態に応じて変化が生じた場合は連絡、相談を行っている。信頼関係が作られている。		
44		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	認知症に知見の深い医師との連携の確保ができています。専門医への受診支援を行っている。		
45		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	利用者に心配な事があれば看護有資格者に相談したりして健康状態について家族に月1回程度連絡し健康管理情報を共有している。		
46		<input checked="" type="checkbox"/> ⑦早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入退院には医療機関の関係者と情報交換と話し合いを行い援助に努めている。入院中は病院訪問し早期退院に備えての受け入れ態勢を整えている。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
47	19	<input checked="" type="checkbox"/> ⑧重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入所問い合わせ、入所時に家族へきちんと方針を伝えている。入居者の心身の状態に異変が見られた時は家族に連絡を入れ、家族の意向を聞き対応している。状態変化に対して関係者と早期から対応の方向性について話し合い家族の合意を得て支援を行っている。		
48		<input checked="" type="checkbox"/> ⑨重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	職員や家族、主治医とも相談し、自施設で対応できる事、出来ない事を協議し、対策を相談している。		
49		<input checked="" type="checkbox"/> ⑩住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	移り住むことのストレスを最小限に食い止める為に、家族等とはもちろん了解を得て本人に係る関連機関と十分な情報交換と話し合いを行い、入居時の援助に努めている。		
地域資源との協働 10項目中 10項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいない項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
IV-1. その人らしい暮らしの支援					
IV-1. (1) 一人ひとりの尊重					
50	20	<input checked="" type="checkbox"/> ①プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーに配慮した言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしている	個人情報記載の書面の取り扱い方やケース記録の記入について配慮している。入居者一人ひとりを尊重した言葉かけや対応を心がけている。人生の大先輩であるという意識を常に持ち支援させて頂いている。		
51		<input checked="" type="checkbox"/> ②利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	入居者一人ひとりが自分で選択したり希望が言いやすいように日常的に行っている。		
52	21	<input checked="" type="checkbox"/> ③日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人のペースを守りながら入居者の伝えたい事をしっかり受け止め、スタッフからは十分に話を聞き、顔を見ての対話、短く分かりやすい言葉等で伝え、自由に自分のペースで生活出来るよう暮らしを支援している。		
その人らしい暮らしの支援 (1)一人ひとりの尊重 3項目中 3項目					
IV-1. (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		<input checked="" type="checkbox"/> ①身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	2ヶ月毎に美容師の来所がある。個々の希望に応じていきつけの美容室にてパーマ・毛染めもされている。お洒落の支援により話や笑顔が多く活気が見られる。その人らしいお洒落のコーディネートさせて頂いている。		
54	22	<input checked="" type="checkbox"/> ②食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	献立に旬のものや個別のお祝いを取り入れている。好みのものや苦手な物などは聞き入れている。買い物や食事の盛り付け、食器拭きを一緒に行ってもらっている。食事のペースを乱さないよう配慮し、本人用の食器を使用し一緒にテーブルで談話しながら食べている。		

自己評価項目	外部評価項目	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
55		<input checked="" type="checkbox"/> ③本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	食べ物については好みの物を聞いている。おやつは一緒に手作りをしている。アルコールは個々の事情で医師と相談しタバコは管理上、入所前より本人、家族に禁煙の協力をお願いしている。可能な限りの支援を図っている。		
56		<input checked="" type="checkbox"/> ④気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	時間を決めてトイレ誘導をしたり、トイレに行かれたら、パットのチェックをしたり、一人ひとりの排泄の状態に合わせてトイレで排泄できるよう細やかに対応を行っている。他者、周りの人に気付かれないような声かけ誘導等にも配慮している。		
57	23	<input checked="" type="checkbox"/> ⑤入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	2日に1度の入浴を利用者全員楽しみにされており、毎回気持ち良く入居者一人ひとりの希望(時間・長さ・回数等)に合わせてくつろいだ入浴がして頂けている。入浴時の不安や羞恥心等への細やかな対応にも配慮している。		
58		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	今まで夜遅くまで起きておられた利用者は遅くまでリビングにおられたり、昼間でも眠い時があれば、居室で自由に休んでもらっている。昼夜逆転が起こらないよう努力している。夜間は照明をゆるめる等、静かに眠れる環境作りにも配慮している。		
その人らしい暮らしの支援 (2)基本的な生活の支援 6項目中 6項目					

自己評価項目	外部評価項目	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
		IV-1. (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59	24	<input checked="" type="checkbox"/> ①役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	入居者には調理、味付け、食器洗いや洗濯物干し、取り込み、洗濯たたみ、清掃等々できる範囲で日常生活上の役割を担ってもらい自信が高められるよう支援している。		
60		<input checked="" type="checkbox"/> ②お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	入所者の力量や希望に応じて自身で財布を持って頂く支援をしている。食材の買い物や個々の買い物等にお出かけしている。		
61	25	<input checked="" type="checkbox"/> ③日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	自治会の行事への参加、近隣への散歩、ドライブ、外食等を行い、積極的に近所に外出する楽しみの機会を増やす工夫をしている。		
62		<input checked="" type="checkbox"/> ④普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	入居者個人のニーズを把握し個別ニーズの時間に対しては人員の配置も確保し対応可能な範囲で実施している。 地域の行事等に積極的に外へ出て楽しめる生活の支援提供を行ったり季節に合わせて外出する楽しみの機会づくりに努めている。		
63		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人が手紙を書ける準備をしたり、本人の希望に合わせて電話等が利用できるよう介助支援を行っている。		
64		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	家族が気軽に訪問しやすい雰囲気作りに職員一同配慮している。湯茶を提供し場の設定をしている。 納涼祭を開催し家族と一緒に食事したりレクリエーション等楽しく無理のない参加支援作りに努めている。		
その人らしい暮らしの支援 (3)社会的な生活の支援 6項目中 6項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
		IV-1. (4) 安心と安全を支える支援			
65		<input checked="" type="checkbox"/> ①身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	認識は充分できている。身体拘束のないケアを実践している。		
66	26	<input checked="" type="checkbox"/> ②鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	夜間の戸締り以外には玄関に鍵をかけていない。玄関にはセンサーチャイムを設置している。各居室には内鍵使用で入居者の自由な暮らしを支援している。		
67		<input checked="" type="checkbox"/> ③利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	昼間はリビングにおられることが多く、居室におられる時は時々様子を見に行っている。夜は4回巡回している。常に入居者の状況が把握できるよう見守り声かけできる所として入居者のそばで記録、様子がわかるようにキッチン・リビング等位置づけている。		
68		<input checked="" type="checkbox"/> ④注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	利用者の状態に応じてハサミ・裁縫道具等、居室に持ってもらっている。薬・包丁等の注意の必要な物品については保管場所・管理方法等を明確に決めて職員間で周知徹底している。		
69		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	事故報告書は整備されている。些細な事でも記すよう活用している。事故防止対策を十分話し合い報告書をまとめ、事故予防に取り組んでいる。		
70		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	緊急時の対応についてはマニュアル化しており職員への周知徹底を図っている。緊急時の対応の研修を受講している。人工呼吸の講習を職員が受けており、事故発生時に備えている。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
71	27	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	運営推進会議の時に避難訓練を地域の方と一緒にいき、協力を得られるようしている。防火・防災に関する事項についてはマニュアル化しており、職員への周知徹底を図っている。避難訓練は消防署依頼し定期的年2回実施している。		
72		<input checked="" type="checkbox"/> ⑧リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	リスクについては家族とよく話し合い、納得、安心が得られるような支援を行っている。転倒のおそれのある利用者には老人車等を準備してもらった対策を話し合っている。また、嘱託医も一緒に同席して頂き話し合いを行ったりしている。		
その人らしい暮らしの支援 (4)安心と安全を支える支援 8項目中 8項目					

自己評価項目	外部評価項目	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
		IV-1. (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73		<input checked="" type="checkbox"/> ①体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	入居者一人ひとりのバイタルチェック表による健康管理を行い、個別介護表、ケース記録、ドクター回診、ノート等に記録を残し、職員間で申し送りし情報共有し、常に嘱託医、かかりつけ医との連携を図っている。		
74		<input checked="" type="checkbox"/> ②服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	内服薬・外用薬は職員が投薬管理表にて服薬を確認しており、薬の目的、副作用については薬事情報にて確認し理解している。		
75		<input checked="" type="checkbox"/> ③便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	毎食野菜をメニューに入れており、朝のお茶タイムや水分補給の声かけを何度かしており、朝の体操や足上げ体操、腹部マッサージも含め便秘予防に取り組んでいる。		
76		<input checked="" type="checkbox"/> ④口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	一人ひとりに声かけ、見守りをしながら歯磨き、義歯の手入れ、うがいで出血や炎症、歯のグラツキのチェックを行い、口腔内の清潔保持に努めている。		
77	28	<input checked="" type="checkbox"/> ⑤栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスを考慮した献立を皆で考え、管理栄養士有資格者がチェックを行っている。食べた量をチェックし朝昼おやつと10時のお茶の時間等に水分補給をしっかりとっている。1日の飲水量と体重測定を週1回チェックしている。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	手洗い・うがいを励行して衛生安全管理の周知徹底を行っている。 マニュアルの作成と見直しを行っている。 嘱託医と連絡しながら行っている。 研修に参加し感染症予防対策に取り組んでいる。 薬剤師より随時感染症予防に対する助言・指導等を受けている。		
79		<input checked="" type="checkbox"/> ⑦食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	まな板、包丁、布巾は毎日消毒しており衛生管理に努めている。食材は2, 3日に一回購入し、冷蔵庫内の整理を常にしている。ゴミ処理の衛生面に関しても速やかな除去・封入・保管・消毒等実行している。		
その人らしい暮らしの支援 (5)健康面の支援 7項目中 7項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
		IV-2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり			
		IV-2. (1) 居心地のよい環境づくり			
80		<input checked="" type="checkbox"/> ①安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関前の花壇には季節の花を絶やさないように工夫している。建物入り口が2箇所ある事で迷うことがないように看板や案内板表示している。		
81	29	<input checked="" type="checkbox"/> ②居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	キッチンからの食事の音・匂い・リビングのコタツやカレンダー・貼り絵を季節ごとに飾り、季節の花を置いたりしてのんびりと心地よく暮らして頂くために家庭的な雰囲気や五感に働きかける様々な刺激を家庭的な生活空間に取り入れている。照明や採光等への配慮も行っている。		
82		<input checked="" type="checkbox"/> ③共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	自分の食事の他に、ソファやたたみコーナーがあり、気の合った利用者同士で常に談話されている。入居者それぞれに自由に過ごされている。		
83	30	<input checked="" type="checkbox"/> ④居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には使い慣れた家具、生活用品・装飾品等一人ひとりの生活必需品を持ち込んでおられその方らしい居室になっている。		
84		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤換気・空調の配慮 気になるにおいや空気の上よみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	朝の掃除の時に必ず窓を開けたり、こまめに換気をしている。エアコンの室温調整も入居者に合わせて行っている。各居室・リビング・廊下等に湿温度計を設置し管理調整している。		
生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり 5項目中 5項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
		IV-2. (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85		<input checked="" type="checkbox"/> ①身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手すり等を廊下・トイレ・浴室の要所に設置している。床面には滑り止め等の工夫を行っている。入居者の状況に応じて設備面には随時対応ができています。			
86		<input checked="" type="checkbox"/> ②わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	トイレの場所がわかりやすいように手作りの標識を数箇所に設置している。居室には手作り表札をかけている。クロス清掃や張替え、照明や採光等にも配慮し混乱を招かないよう努めている。			
87		<input checked="" type="checkbox"/> ③建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	屋上や建物の外周りには花壇や畑があり、利用者と一緒に花や野菜を植え、水やりや手入れをしたり収穫を楽しんだりしている。ひなたぼっこもしている。			
生活環境づくり (2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり 3項目中 3項目						

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所の番号の左横に○印をつけること)
		↓○印欄
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所の番号の左横に○印をつけること)
		↓○印欄
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、活き活きと働けている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

<理念>

- ・ ゆっくり暮らそ。
- ・ 楽しく暮らそ。
- ・ 元気に暮らそ。

<方針>

- ・ 可能な限りしたいことをしていただく。
- ・ 個々人を人格として尊重する。
- ・ 暖かで良好な人間関係を築く。
- ・ 安心かつ快適に暮らしていただく。
- ・ 個々人の状態、事情、悩みを最大限配慮する。

<指針>

- ・ ふれあいを大切にした家庭的な雰囲気作りを心がける。
- ・ 個々のペースにあった心地よい生活提供を心がける。
- ・ ご自身の人生を幸せに感じていただけるよう、きめ細やかなお手伝いを心がける。

グループホームでの生活を入居者だけではなく、スタッフも楽しめるような雰囲気作りを心がけ、健全運営を常にしっかり頭に描いて穏やかで楽しい尊厳のある、その人らしい当たり前の生活を保障することを実践したい。

評価結果整理表

個 別 表	□のチェック項目数
I 理念に基づく運営	
－1. <input checked="" type="checkbox"/> 理念と共有	3 項目/3項目
－2. <input checked="" type="checkbox"/> 地域との支え合い	3 項目/3項目
－3. <input checked="" type="checkbox"/> 理念を実践するための制度の理解と活用	5 項目/5項目
－4. <input checked="" type="checkbox"/> 理念を実践するための体制	7 項目/7項目
－5. <input checked="" type="checkbox"/> 人材の育成と支援	4 項目/4項目
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	
－1. <input checked="" type="checkbox"/> 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4 項目/4項目
－2. <input checked="" type="checkbox"/> 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6 項目/6項目
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	
－1. <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの把握	3 項目/3項目
－2. <input checked="" type="checkbox"/> 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3 項目/3項目
－3. <input checked="" type="checkbox"/> 多機能性を活かした柔軟な支援	1 項目/1項目
－4. <input checked="" type="checkbox"/> 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10 項目/10項目
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	
IV－1. その人らしい暮らしの支援	
－1. (1) <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの尊重	3 項目/3項目
－1. (2) <input checked="" type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援	6 項目/6項目
－1. (3) <input checked="" type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援	6 項目/6項目
－1. (4) <input checked="" type="checkbox"/> 安心と安全を支える支援	8 項目/8項目
－1. (5) <input checked="" type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援	7 項目/7項目
IV－2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	
－2. (1) <input checked="" type="checkbox"/> 居心地のよい環境づくり	5 項目/5項目
－2. (2) <input checked="" type="checkbox"/> 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり	3 項目/3項目

総合評価

I 理念に基づく運営 (項目/5項目)について

理念は業務マニュアルにうたい、全職員に周知している。
また、ホーム内のわかりやすい場所に掲示している。
理念の啓発については運営推進会議を開催し地域住民に説明を行い、地域の行事に参加し地域住民との交流の場で職員が口頭にて伝えたりしてグループホームの役割と理解が広まり、地域に溶け込んでいけるよう日々努めている。

II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 (項目/2項目)について

のんびりと心地よく暮して頂くための家庭的な生活空間作りには職員一同絶えず努力している。
照明や採光、換気や空調などへの配慮も十分に行っている。トイレなど利用する人がわかりやすいような工夫も行っている。花壇や農園も造り、各入居者の経験や趣味などに応じて活動意欲を触発する馴染みの物品も揃えていっている。

III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント (項目/4項目)について

アセスメントから個別の介護計画、きめ細やかなケアの実施へと繋げるシステムを構築している。
個々に見合ったケアサービスが提供できている。
定期的なカンファレンス等を通じて、個々の状況に応じたきめ細やかなケアの提供に努めている。

IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 (項目/7項目)について

家族がグループホームでの活動に参加できる機会作りをしていく必要がある。
医療機関との連携については、特に嘱託医との連絡・相談は密に行っている。また、急変時など入院できる医療機関の確保も行っている。

V サービスの成果に関する項目について

入居者一人ひとりが感情豊かに生活を送れるよう支援している。
また、生きる楽しみから生きていく事への自信を持てるような個々のケアプランを作成し、それを全職員が共有するよう指導している。

☆サービスの質の向上に向けて、取り組む課題と優先順位、具体的な行動の計画

評価年月日： 年 月 日

前回評価年月日： 年 月 日

サービスの質の向上に向け取り組む課題			取り組み期間 (○年○月～ ○年○月まで)	改善に向けた具体的 な行動	達成度評価	次期 評価 実施 時期
評価項目 番号	優先 順位	内 容				